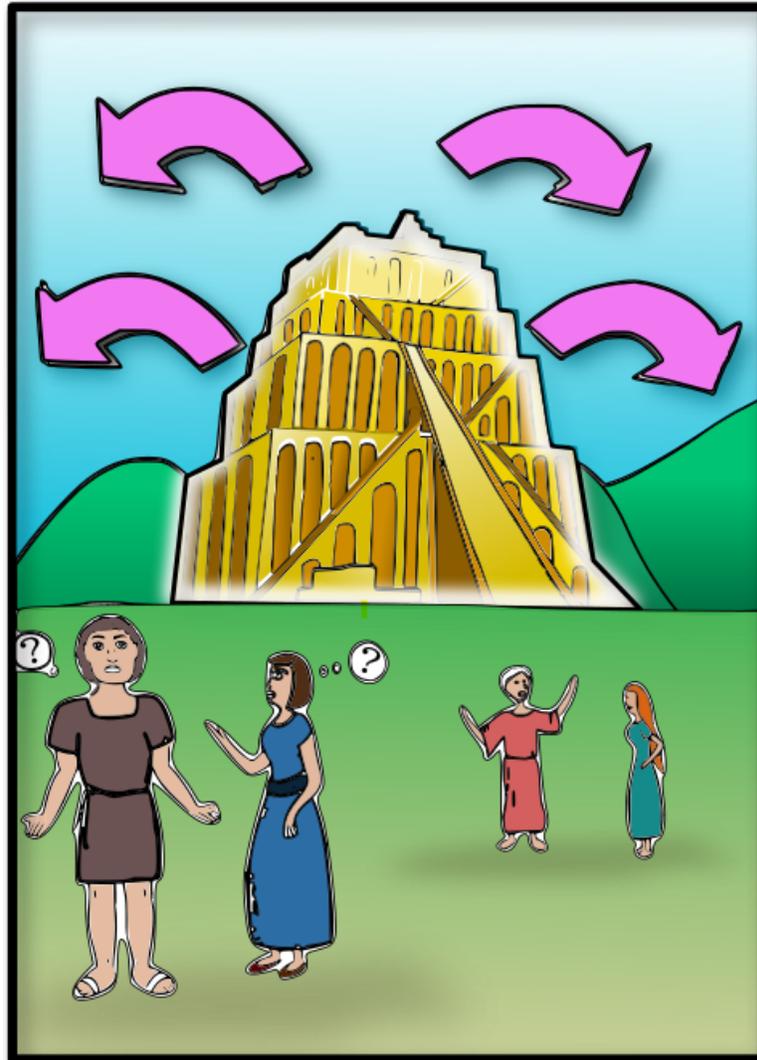


バベルの塔

国々の始まり



創世記 11章

第3課:バベルの塔

国々の始まり

聖書

本	著者	章	年
創世記	モーセ	11	紀元前1450-1410年

概要

創世記 11 章では、人類は 1 つの言語で団結し、天に到達し、名を馳せるために塔を建てようとしています。それに応じて、神は彼らの言語を混乱させ、彼らを地上に散らし、建設を中止し、多様な国を生み出します。

レジュメ

人類の計画 創世記 11:1-4

- すべての人々は同じ言語を持っており、東に移動し、シナル(メソポタミア)の平原を見つけました
- 天に届く塔のある都市を作る計画
- 「さあ、天まで届く塔のある町を建て、有名になろう」 - 主ではなく、自分たちの名を高くしたいと願っています

主の介入創世記 11:5-8

- 主は町と塔を見下ろすために降りてこられた
- これが誇り高く、人道主義的な追求の始まりであり、「彼らが何を企てても、妨げることはできない」ことがわかりました
- 神は彼らの言語を混乱させ、彼らがお互いを理解できないようにしました
- それから彼は人々を地上に散らしました

要点

1. 人類は、神ではなく、自分たちの集団的な努力に頼って「名を馳せる」ことを望んでいました
2. 神は介入し、彼らの言語を混乱させることで彼らの努力を止めました
3. 言語と国家の起源